

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（売場担 当者）	来客数の動き	・近くにある駅前周辺の整備と当店のリニューアルの相乗効果により、来客数が前年の120%と大幅に増加している。	
	やや良く なっている	一般小売店〔鮮 魚〕（従業員）	お客様の様子	・最近はお客の来客数が減っていると聞いていたが、今年は通常の宴会やパーティーも含めて増加傾向にある。	
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・卒園、入学、入社などセレモニー関連商品では汎用性の高い、着回しの効く商品が従来多かったが、今年は高品質なエレガンススタイルの商品の動きが目立っている。	
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・近隣のコンビニが撤退したため、売上の増加傾向が続いている。	
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・天候があまり良くなかったにもかかわらず、主力のおにぎりや弁当などの中食の売行きが良く、これに引張られる形で全体の販売状況も好調であった。競合店の出店による売上の減少傾向にもしっかりと歯止めがかかった。	
		家電量販店（経 営者）	販売量の動き	・地上デジタル放送の影響で、薄型テレビが好調なため、テレビの売上は前年比で20%以上増加している。特に32インチ以上の高額商品の売行きが良い。	
		乗用車販売店 （総務担当）	販売量の動き	・新型のRV車を中心に前年を上回る受注が続いている。また、低燃費のハイブリット車の商談も増加している。	
		一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・高齢者、ダイエット中の女性を対象に発売した少量サイズのメニューが客に認知され始めたこと、冬季トリノオリンピック・女子フィギュアスケートの金メダル、ワールド・ベースボール・クラシックの優勝など明るい話題により客の財布のひもが緩み、来客数の増加につながっている。	
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・宿泊客数、レストランの通常利用客、一般宴会利用客が増加しており、売上は前年同月を上回っている。3か月前と比べても、利用客数の増加により増収となっている。	
		旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・客が大雪で動かなかった反動のためか、旅行の売上が前年比10%増加している。	
		通信会社（役 員）	販売量の動き	・ケーブルテレビの新規契約は2月の落ち込みをばん回するような勢いをみせている。	
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・卒業・入学シーズンが重なった上、携帯電話の値段も低下していることから販売台数が飛躍的に増加している。	
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・来客数は依然として前年を下回る状況が続いているが、3か月に1度の割合で前年を上回る月が出てきた。	
	変わらない		商店街（代表 者）	お客様の様子	・悪天候の上、大手百貨店の撤退もあり、盛り上がりが見られない。
			一般小売店〔事 務用品〕（営業 担当）	販売量の動き	・例年は年度末の需要期で多忙な時期であるが、今年は販売量が微減している。また、単価も上がらず、利益面でも厳しい。
			百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・婦人衣料は20日ごろまで順調であったが、その後は天候不順などにより、売上は前年比96%と苦戦した。ただ、フォーマルウェアは10万円以上の高額商品が好調で、前年比110%となった。
			スーパー（店 長）	単価の動き	・多くの競合店が乱立するなかで、客は安い商品を買って買い回りをしている。来客数は減らないものの、客単価が伸びない。
			スーパー（営業 担当）	お客様の様子	・天候不順で寒い日が続く、春夏商材が動かない。一方、煮込みなど冬商材は動いているものの、消費量が少ない。
			コンビニ（店 長）	それ以外	・売上や客単価などはほとんど変わらない。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・来客数は相変わらず低調である。ただ、3月初旬の土・日曜日に市内中心部の駐車場で料金を無料としたため、来客数が飛躍的に増加し、月全体では前年同月の来客数をクリアできた。	

		乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・年間を通して最大の需要期であり、拡販に取り組んでいるが、なかなか厳しい状態である。競合する他社では従来考えられないようなダンピングが行われており、価格や販売条件次第では売れるという傾向が読み取れる。
		乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・新型車効果もあり、来客数は増加しているが、販売台数の増加にはつながっていない。
		住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・依然として商品のまとめ買いが少なく、必要なものしか買わないという傾向がみられ、部門間の売上にはばつきが生じている。
		その他専門店 [医薬品](営業担当)	販売量の動き	・1人当たり買上点数が既存店で5.2点となり、3か月前に比べて0.2ポイント低下した。これは、風邪や花粉症などの季節要因による影響である。
		高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・例年に比べ来客数はわずかに減少しているが、高額商品の売行きが好調のため、客単価は微増している。また、少数であるが、価格に関係なく、高品質の商品を求める客が増えている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・全国的に不審者事件が起きたためタクシーの需要が若干増えたが、夜は相変わらず静かである。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・販売量の動きは例年と全く変わらず、来客数も例年どおりである。
		競輪場(職員)	単価の動き	・入場者数は季節要因もあって大幅に増加したが、1人当たり売上単価はあまり上昇していない。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・大きな住宅展を開催したが、来客数は多かったものの、客に購買意欲が感じられない。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・季節的に販売が増加する時期であるが、戸建て住宅の契約は横ばいで推移している。
	やや悪くなっている	スーパー(店長)	単価の動き	・買上点数は増加しているが、一品単価は相当低下している。オーバーストアにより価格競争が激化しているため、特売品をターゲットに来店する客が多い。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・20日過ぎから客の動きが若干出てきたものの、売上は前年の9割程度である。駅周辺では安い単価を売り物にした新しい居酒屋が増加し、集客している。二次会の来客数もめっきり少なくなった。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・昨年末からの大雪の影響で、北陸全体のイメージが悪化し、来場者数は団体、グループ、個人とも前年比2けた以上の減少となっている。
	悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・気候が良くなり、街ににぎわいを感じる日もあるが、客の財布のひもは相変わらず固く、消費に結び付いていない。ここに来て、寒さもぶり返し、人出も減っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・月の前半は人出が少なかったが、後半は転勤、退職などの送別会で人出が増加し、若干持ち直した。ただ、12月があまりにも良かったため、3か月前との比較では悪くなった。
企業 動向 関連	良く なっている	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・企業のおう盛な設備投資の影響を受け、配管材料等の受注が大幅に増加した。
	やや良く なっている	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注に動きがあるが、一方では原油高騰による原材料の値上げが相次ぎ、採算面では圧迫感がある。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ユーザーの設備投資意欲は相変わらずおう盛である。
		金融業(融資担当)	受注量や販売量の動き	・日銀の政策変更により、銀行窓口への借入需要が活発化している。
		新聞販売店[広告](従業員)	受注量や販売量の動き	・受注単価は低下しているが、受注量は3か月連続で前年を上回っている。
	変わらない	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・婦人衣料の春物の動きは若干良いが、スポーツ衣料の生産は前年比減少している。非衣料は2月と同じで横ばいである。
		電気機械器具製造業(経理担当)	取引先の様子	・自動車向け、工作機械向けは、引き続き堅調である。しかし、弱電向けは今一つ伸びず、4月からは立ち上がるという情報もあるが、まだ不透明である。
		精密機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・眼鏡産地の受注量は現状維持で、依然として厳しい状況が続いている。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3か月前の12月と3月はいずれも公共事業の工期が集中する時期であり、工期内の完成に向けて、元請、下請とも休日返上の状況である。

	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・物量はなんとか前年並みを確保したが、輸送単価が前年比で低下したため、売上は前年を下回った。	
	司法書士	取引先の様子	・不動産取引の案件はいくつかあるが、売り主側にひっ迫した財政事情があるため、景気が良いとは判断できない。	
	会計事務所（経営者）	取引先の様子	・自動車部品の請負企業では受注量は確保しているものの、受注単価の値下げ要求が強いため、利益なき繁忙状態である。	
	やや悪くなっている	-	-	
	悪くなっている	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・納入先の在庫が過剰気味のため、当社へのリピートが来ない。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・企業からの求人数は増えているが、登録者数が伸びず、需要に応じ切れない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・アルバイト・パート募集を中心に、求人件数は増加している。また、今まで正社員募集を控えていた企業からの正社員募集もわずかながら増えており、企業に求人意欲が出てきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の売上は前年比4%増となり、久しぶりに前年を上回った。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・年明け以降、人材紹介・人材派遣依頼数は増加しているが、人材が常に不足している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・登録スタッフの減少傾向が続いており、企業からの需要に応じ切れない。また、正社員採用の動きが積極的になっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は1.4倍台で推移しており、大幅な変化はみられないが、依然として非正規型求人の占める割合が高い。正規型求人への切替え依頼のチラシを窓口で配布しているが、まだ本格的な回復には至っていない。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	